

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2008年10月31日設定）	
運用方針	当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド フランクリン・テンプルトン・ ブラジル国債 マザーファンド	「フランクリン・テンプルトン・ ブラジル国債マザーファンド」 受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド フランクリン・ テンプルトン・ ブラジル国債 マザーファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年2回の決算日（原則として毎年3月13日及び9月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

フランクリン・テンプルトン・ ブラジル国債ファンド (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

第34期 決算日 2025年9月16日

— 受益者のみなさまへ —

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド（年2回決算型）」は、2025年9月16日に第34期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
 今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問合わせ先

TEL 03-5219-5947

（受付時間 営業日の9:00～17:00）

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額					債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		税分	込配	み金	期騰	中落率			
30期(2023年9月13日)	円 18,983		円 0		% 22.2		% 99.8	% —	百万円 3,160
31期(2024年3月13日)	19,858		0		4.6		99.0	—	2,867
32期(2024年9月13日)	17,254		0		△13.1		99.6	—	2,366
33期(2025年3月13日)	18,141		0		5.1		100.0	—	2,246
34期(2025年9月16日)	20,881		0		15.1		99.7	—	2,380

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		債組入比率	債券先物比率	券率
		騰	落			
(期首) 2025年3月13日	円 18,141		% —		% 100.0	% —
3月末	18,477		1.9		99.8	—
4月末	18,212		0.4		98.9	—
5月末	18,436		1.6		99.6	—
6月末	19,329		6.5		99.0	—
7月末	19,849		9.4		100.4	—
8月末	20,299		11.9		99.6	—
(期末) 2025年9月16日	20,881		15.1		99.7	—

(注) 謄落率は期首比です。

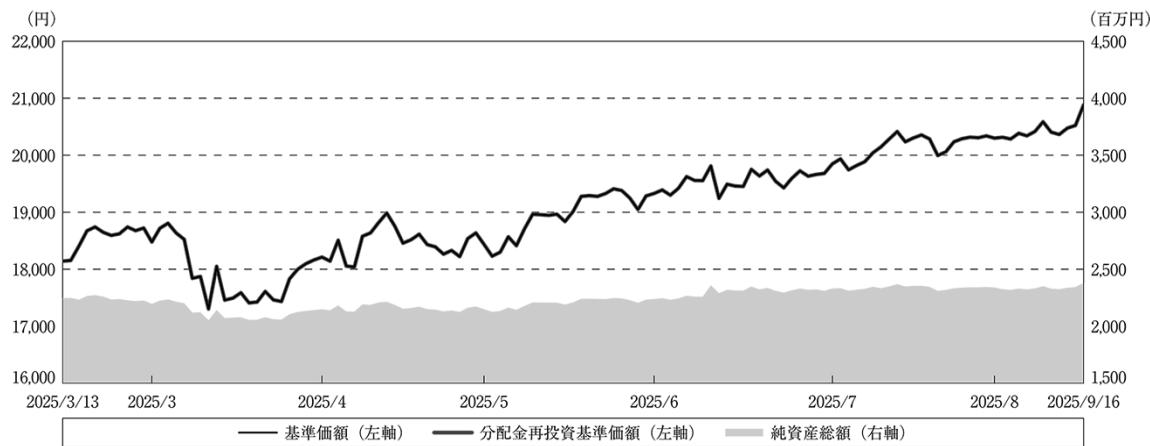
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年3月14日～2025年9月16日)



期 首：18,141円

期 末：20,881円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率： 15.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年3月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

公社債利金を手堅く確保したほか、債券利回りが低下する中、公社債損益もプラスとなりました。また、ブラジルレアル高・円安を反映して、為替損益もプラスとなりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行（BCB）が3会合連続で1%の利上げを決定したことなどから、利回りは上昇（価格は下落）しました。しかし、その後は米国の関税措置による景気後退懸念の高まりから、安全資産である国債に資金回避が起こったため、利回りは低下しました。また、米消費者信頼感指数（CCI）が大きく落ち込んだことなどを受けて、米国国債利回りが低下したことも、ブラジルの債券利回りの低下要因となりました。

期の半ばは、格付け会社ムーディーズが財政政策を巡る不透明感から、ブラジルの格付け見通しを引き下げたことを受けて、ブラジルの利回りは上昇しました。その後はブラジルの消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことなどから、利回りは低下しましたが、トランプ米大統領がブラジルからの輸入品に対して2025年8月1日から50%の関税を課すと表明したことを受け、ブラジルはトリプル安の展開となり、利回りは再び上昇しました。

期の後半は、BCBが政策金利を据え置き、利上げサイクルを停止したことに加え、米国雇用統計の悪化を受けて、米国国債利回りが低下すると、ブラジルの利回りも低下しました。また、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が年次経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」で講演し、9月の利下げの可能性を示唆したことを見て米国国債利回りが低下したことでもブラジルの利回りの低下要因となりました。

当期のブラジルレアル・円相場は、レアル高・円安となりました。

期の前半は、トランプ米大統領による相互関税などの発表を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まったため、安全資産とされる日本円が対レアルで上昇しました。しかし、その後はトランプ米政権が対中強硬姿勢を緩和させる可能性があるとの報道を受けて、市場のリスク回避姿勢が和らいだことから、レアル高・円安が優勢となりました。日銀が金融政策決定会合で政策金利を据え置き、インフレ見通しを下方修正したこともレアル高・円安要因となりました。



期の半ばは、レアル売り・円買いが先行しましたが、その後は米中による電話協議開催の報道を受け、世界的な貿易摩擦の激化が回避されるとの期待が高まったことから、投資家のリスク選好度が高まったため、レアル高・円安が進みました。中東情勢の緊張化を受けて原油先物価格が上昇したことなどを背景に、産油国通貨であるレアルは対円でさらに上昇しました。

期の後半は、米国と日本、欧州連合(EU)の関税交渉合意を受けて投資家のリスク選好度が高まつたことから、レアル高・円安が一段と進行しました。ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言を受けてFRBの追加利下げ観測が強まり、投資家のリスク選好度が高まつたこともレアル高・円安要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月14日～2025年9月16日)

当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2025年3月14日～2025年9月16日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきました。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第34期
	2025年3月14日～ 2025年9月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	— -%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	19,639

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年3月14日～2025年9月16日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 167	% 0.874	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(81)	(0.423)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(81)	(0.423)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後的情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	18	0.095	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(13)	(0.069)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(3)	(0.013)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合計	185	0.969	
期中の平均基準価額は、19,100円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

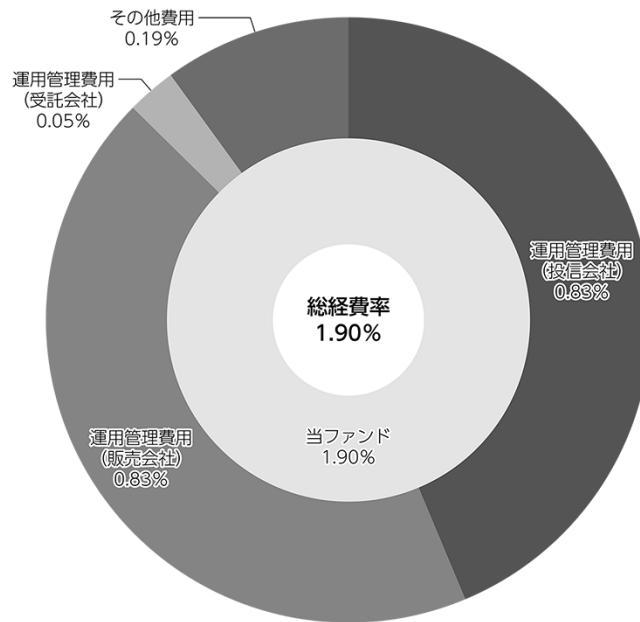
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年3月14日～2025年9月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千口 34,971	千円 92,208	千口 116,472	千円 298,229

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年3月14日～2025年9月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2025年3月14日～2025年9月16日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年3月14日～2025年9月16日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年9月16日現在)

親投資信託残高

銘 柏	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	千口	口 数	評 価 額
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	930,819	千口 849,318	千円 2,400,428	

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年9月16日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千円 2,400,428	% 99.8
コール・ローン等、その他	3,849	0.2
投資信託財産総額	2,404,277	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（22,047,578千円）の投資信託財産総額（22,268,639千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月16日における邦貨換算レートは1米ドル=147.53円、1ブラジルレアル=27.7385円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月16日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 2,404,277,455
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	2,400,428,362
未収入金	3,849,093
(B) 負債	23,962,563
未払解約金	3,849,093
未払信託報酬	19,543,293
その他未払費用	570,177
(C) 純資産総額(A-B)	2,380,314,892
元本	1,139,961,283
次期繰越損益金	1,240,353,609
(D) 受益権総口数	1,139,961,283口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,881円

<注記事項>

元本の状況

期首元本額 1,238,286,127円

期中追加設定元本額 47,198,793円

期中一部解約元本額 145,523,637円

期末における1口当たりの純資産額は2,0881円です。

○損益の状況 (2025年3月14日～2025年9月16日)

項目	当期末
(A) 有価証券売買損益	円 326,082,904
売買益	341,915,181
売買損	△ 15,832,277
(B) 信託報酬等	△ 20,113,470
(C) 当期損益金(A+B)	305,969,434
(D) 前期繰越損益金	428,850,118
(E) 追加信託差損益金	505,534,057
(配当等相当額)	(1,362,989,806)
(売買損益相当額)	(△ 857,455,749)
(F) 計(C+D+E)	1,240,353,609
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	1,240,353,609
追加信託差損益金	505,534,057
(配当等相当額)	(1,363,303,621)
(売買損益相当額)	(△ 857,769,564)
分配準備積立金	875,515,300
繰越損益金	△ 140,695,748

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決算期	当期末
(A) 配当等収益(費用控除後)	96,266,232円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収益調整金	1,363,303,621
(D) 分配準備積立金	779,249,068
分配対象収益額(A+B+C+D)	2,238,818,921
(1万口当たり収益分配対象額)	(19,639)
収益分配金	0
(1万口当たり収益分配金)	(0)

＜お知らせ＞

＜主な約款変更に関するお知らせ＞

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」（以下、「投信法」）の一部改正に伴い、投信法第14条第1項に規定する事項を記載した書面（運用報告書（全体版））に記載すべき事項を電磁的方法により提供できるよう、投資信託約款に所要の変更を行いました。

デジタル化推進のもと、今回の投信法及び関連規則等の改正により、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されております。

（変更日：2025年4月1日）

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2025年9月16日現在)

<フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド>

下記は、フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド全体(7,866,074千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	当期末						
		評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 694,150	千ブラジルレアル 792,458	千円 21,981,601	% 98.9	% 98.9	% —	% 9.2	% 89.7
合計	694,150	792,458	21,981,601	98.9	98.9	—	9.2	89.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利率	額面金額	当期末			償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	千円	
ブラジル		% 千ブラジルレアル				
国債証券	BRAZIL-LFT(LETRA FINANCE) BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA) BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA) BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA) BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N) BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N) BRAZIL-NTNB(NOTA TESO N)	— — — — 10.0 10.0 6.0	7,350 148,800 331,000 103,500 89,500 5,000 9,000	127,614 148,075 317,696 68,969 85,623 4,602 39,876	3,539,835 4,107,401 8,812,432 1,913,097 2,375,065 127,667 1,106,103	2026/3/1 2025/10/1 2026/1/1 2029/1/1 2027/1/1 2029/1/1 2026/8/15
合計		計			21,981,601	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第17期 決算日 2025年3月13日

(計算期間：2024年3月14日～2025年3月13日)

ー 受益者のみなさまへ ー

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」の第17期の運用状況をご報告申し上げます。

△当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限（2008年10月31日設定）
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none">主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率	純総資産額
	期初	中落率					
13期(2021年3月15日)	円 13,415	% △ 4.7	97.7	—	—	—	百万円 32,984
14期(2022年3月14日)	16,047	19.6	97.9	—	—	—	28,484
15期(2023年3月13日)	20,137	25.5	98.8	—	—	—	24,983
16期(2024年3月13日)	26,170	30.0	98.1	—	—	—	25,682
17期(2025年3月13日)	24,355	△ 6.9	99.1	—	—	—	20,168

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率
	期首	騰落率				
2024年3月13日	円 26,170	% —	98.1	—	—	—
3月末	26,679	1.9	98.0	—	—	—
4月末	27,175	3.8	99.0	—	—	—
5月末	26,839	2.6	98.6	—	—	—
6月末	26,211	0.2	98.6	—	—	—
7月末	24,490	△ 6.4	98.9	—	—	—
8月末	23,394	△10.6	99.5	—	—	—
9月末	24,033	△ 8.2	98.6	—	—	—
10月末	24,552	△ 6.2	99.2	—	—	—
11月末	23,194	△11.4	98.7	—	—	—
12月末	23,601	△ 9.8	98.0	—	—	—
2025年1月末	24,677	△ 5.7	99.5	—	—	—
2月末	24,339	△ 7.0	98.5	—	—	—
(期末) 2025年3月13日	24,355	△ 6.9	99.1	—	—	—

(注) 謄落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年3月14日～2025年3月13日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから公社債利金を手堅く確保したため、債券利回りが上昇（価格は下落）するなかでも債券要因はプラスとなったものの、ブラジルレアル安・円高を反映して為替損益がマイナスとなりました。

投資環境

当期のブラジル債券市場では、利回りが上昇しました。

期の前半は、ブラジル政府が基礎的財政収支（プライマリーバランス）の赤字解消の達成時期を1年先送りしたため、ブラジルの財政悪化懸念の高まりを背景に、利回りは上昇しました。また、ブラジル中央銀行（BCB）が2023年8月からの連続利下げを停止し、今後のインフレ見通しが一段と厳しくなるとの見方を示したこと、利回りの上昇要因となりました。

期の半ばは、BCBが約2年ぶりに利上げに転じ、その次の会合では利上げのペースを加速させたことから、利回りは一段と上昇しました。

期の後半は、BCBが大幅な利上げを実施したことに加え、ブラジルのアダジ財務相が今後数年間の公共支出削減計画や高所得者への増税を提案する一方、低所得層への所得税免除拡大も発表したことから、市場では財政健全化の取り組みに対して懐疑的な見方が広がったため、利回りは更に上昇しました。しかし、その後はブラジルの2024年のプライマリーバランスについて、国内総生産（GDP）比で大規模洪水の影響を除くと、税収の大幅な伸びにより政府目標をほぼ達成したとみられたことなどから、ブラジルの財政健全化に対する期待が高まるに、利回りは低下（価格は上昇）しました。

当期のブラジルレアル・円相場は、レアル安・円高となりました。

期の前半は、ブラジル政府がプライマリーバランスの赤字解消の達成時期を1年先送りしたため、ブラジルの財政悪化懸念の高まりを背景に、レアル安・円高が優勢となりました。一方、日銀が2024年4月の金融政策決定会合で追加利上げを見送ったことが、レアル高・円安の要因となりました。

期の半ばは、7月末の日銀の金融政策決定会合で利上げの可能性が高まるなか、レアルは対円で大きく下落しました。また、実際に利上げが実施された同会合の会見で植田日銀総裁が追



加利上げについて言及すると、レアルは対円で一段と下落しました。しかし、その後はBCBの利上げや格付け会社によるブラジルの格上げなどを背景に、レアル高・円安が優勢となりました。

期の後半は、ブラジル政府による低所得層への所得税免除拡大の発表を受けて、ブラジルの財政健全化に対する懸念が強まるなか、レアル安・円高が進みました。しかし、その後はBCBが大幅な利上げを実施したことや、ブラジルのプライマリーバランスが政府目標をほぼ達成したことなどを背景に、レアル高・円安が優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年3月14日～2025年3月13日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用 (保管費用)	円 (44)	% (0.175)	(a) その他の費用=期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	44	0.175	
期中の平均基準価額は、24,932円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年3月14日～2025年3月13日)

公社債

外 国	ブラジル	国債証券	買付額	売付額
			千ブラジルレアル 606,718	千ブラジルレアル 676,081 (49,550)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年3月14日～2025年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年3月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 700,850	千ブラジルレアル 782,085	千円 19,989,403	% 99.1	% 99.1	% —	% —	% 99.1
合計	700,850	782,085	19,989,403	99.1	99.1	—	—	99.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末					償還年月日	
	利率	額面金額	評価額		邦貨換算金額		
			外貨建金額	千ブラジルレアル	千円		
ブラジル							
国債証券	BRAZIL-LFT (LETRA FINANCE) BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA) BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA) BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA) BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N) BRAZIL-NTNB (NOTA TESO N)	— — — — 10.0 6.0	7,350 61,000 222,000 400,000 1,500 9,000	118,902 58,671 205,985 358,113 1,399 39,013	3,039,034 1,499,582 5,264,802 9,153,062 35,779 997,142	2026/3/1 2025/7/1 2025/10/1 2026/1/1 2027/1/1 2026/8/15	
合計					19,989,403		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年3月13日現在)

項目	当期末		%
	評価額	比率	
公社債	千円 19,989,403		98.5
コール・ローン等、その他	299,011		1.5
投資信託財産総額	20,288,414		100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(20,017,880千円)の投資信託財産総額(20,288,414千円)に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=148.31円、1ブラジルレアル=25.5591円です。

○特定資産の価格等の調査

(2024年3月14日～2025年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月13日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	
コレ・ローン等	20,288,414,127
公社債(評価額)	298,260,688
未収利息	19,989,403,053
前払費用	228,886
	521,500
(B) 負債	119,858,869
未払解約金	119,858,869
(C) 純資産総額(A-B)	20,168,555,258
元本	8,281,138,054
次期繰越損益金	11,887,417,204
(D) 受益権総口数	8,281,138,054口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,355円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	9,813,862,595円
期中追加設定元本額	435,160,515円
期中一部解約元本額	1,967,885,056円
期末における1口当たりの純資産額は2,4355円です。	

(注) 期末における元本の内訳

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	7,350,318,661円
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	930,819,393円

○損益の状況

(2024年3月14日～2025年3月13日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	2,040,442,328
受取利息	2,040,446,918
支払利息	△ 4,590
(B) 有価証券売買損益	△ 3,685,325,604
売買益	109,657,673
売買損	△ 3,794,983,277
(C) 保管費用等	△ 39,517,670
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,684,400,946
(E) 前期繰越損益金	15,868,981,964
(F) 追加信託差損益金	673,982,482
(G) 解約差損益金	△ 2,971,146,296
(H) 計(D+E+F+G)	11,887,417,204
次期繰越損益金(H)	11,887,417,204

(注) 損益の状況の中での(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中での(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中での(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

該当事項はございません。